

大野光子名誉教授 アイルランド大統領殊勲賞受賞

文学部英文学科(現・総合英語学科)で25年間、教鞭を執られた大野光子名誉教授。日本を代表するアイルランド文学研究者として、アイルランドにも多くのファンがいるほど国内外で広く活躍されています。その功績が称えられ、2020年11月、大野名誉教授がアイルランド大統領殊勲賞を受賞しました。

アイルランド大統領殊勲賞は、海外に住んでいる主にアイルランド人を対象に、祖国やアイルランド人コミュニティへの長年の貢献を表彰するものです。2020年は世界から14人が受賞しました。大野名誉教授は、今回唯一の日本人で初の日本人女性であり、日本人初の芸術・文化部門受賞者となりました。



人間情報学科1年 山田春香さん 第58回技能五輪全国大会ウェブデザイン競技優勝

日本の若手技能者が挑む「技能五輪全国大会」は、1963年から続く歴史ある技能競技大会です。機械系、金属系、情報通信系など幅広い競技職種があります。その第58回大会が11月に愛知県で開催され、人間情報学科1年の山田春香さんが出場。ウェブデザイン競技で見事優勝を果たし、2022年に

中国・上海で開催予定の技能五輪国際大会への出場権も手にしました。山田さんは「高校時代から技能五輪全国大会に出場し、昨年に続いて今年も日本一になることができました。人間情報学科で情報デザインを中心に幅広く学び、自分の力を鍛え続けたいと思います」とさらなる高みをめざしています。



建築・インテリアデザイン専攻 間宮ゼミ デザイナーズマンションの内装をデザイン

創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻 間宮ゼミの学生が、名古屋市内のデザイナーズマンションの内装デザインを手掛けました。4人の学生が2チームに分かれて担当したのは、モデルルーム2室です。コンセプトの考案、壁紙や床材、インテリアの選定などに力を注ぎ、内装デザインをブラッシングしました。

設計事務所や施主へのプレゼンテーションを経てブラッシュアップを重ね、実際の施工やインテリアコーディネートにも立ち会いました。さらに、2020年10月のメディア向け内覧会でも活躍した学生たち。実務に近い形で空間デザインの設計に携わり、卒業後にも役立つ実践力を磨くことができました。



創造表現学科創作表現専攻3年 橋本花菜実さん 公益財団法人大幸財団 丹羽奨励生に採用

愛知県内の学生を主な助成対象とした「公益財団法人大幸財団 丹羽奨励生(2020年度)」に、創造表現学科創作表現専攻3年の橋本花菜実さんが選ばれました。橋本さんは演劇のゼミに所属し、劇作家・演出家の刈馬力オス先生指導のもと、演技の表現方法やシナリオ制作を学んでいます。1年次からソロ

ユニット「在り処(ありか)」を立ち上げて戯曲執筆や演出に力を注ぎ、名古屋市内の演劇イベントで栄える賞にも輝きました。こうした活動が丹羽奨励生採用につながり、橋本さんは「演劇活動の幅を広げて、生きづらさを抱える人の心に届く戯曲や芝居を生み出したい」と決意を新たにしています。



令和2年度学資援助に係る 奨励給付奨学金(学部)給付通知式

愛知淑徳大学では、志高く学修・研究に励む学生の学業奨励を目的とする奨学金制度を充実させています。その一つである学部奨励給付奨学金は、学部の正規の課程に在籍する3年生・4年生のうち、特に学業成績優秀な学生が対象です。この奨学金は公募を行わず、各学部の教授会において成績優秀

者を選考・審議のうえ、学長に推薦し、給付者を決定します。

本年度の給付通知式は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、9月29日に長久手・星が丘両キャンパスで開催しました。給付者は通知書を受け取り、学修・研究やかなえたい夢・目標への思いを新たにしていました。



秋のオープンキャンパス

9月20日・21日に秋のオープンキャンパスを開催しました。本年度は新型コロナウイルスによる社会的状況を鑑み、高校3年生限定で事前予約制での開催となりました。両日とも午前と午後それぞれ1回ずつ、2日間で計4回開催し、付き添い者を含め、合計2236人の方にご参加いただきました。

当日は、学科・専攻相談や入試相談、施設見学のほか、公募制推薦入試対策講座(DVD上映)が行われました。限られた時間での開催に加え、マスクの着用、受付時の検温、手指消毒の徹底など、例年とは異なる雰囲気での開催となりましたが、愛知淑徳大学の雰囲気を感じていただく機会となりました。



高校 秋の文化祭

11月17日、金山の日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて秋の文化祭を開催しました。コロナ禍の影響で会場の客席数は半減。当初予約していたビレッジホールでは手狭なため、急遽空いたフォレストホールを押さえての開催となりました。

様々な発表の場を失った無念を晴らすのごとく、すべてのクラブが熱のこもった素晴らしい演奏・演技を披露していました。一人ひとりの努力があれば、学校生活もより一層充実したものになると改めて実感しました。まだまだ制限の多い状況が続きますが、文化クラブの活動のひとつの集大成を披露する場として、今後より良い文化祭を開催していきたいと思っています。



中学 秋の文化クラブ発表会

11月20日、秋の文化クラブ発表会が行われました。例年は大アリーナ舞台での発表を全校生徒で鑑賞しますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に収録した各クラブの動画を教室で視聴することになりました。フルート同好会の澄んだ音色から始まり、合唱部の美しい響き、管弦楽部の優雅な演奏、吹奏楽

部の迫力ある音、ギター・マンドリンクラブのしなやかなメロディ、演劇部の引き込まれる演技など魅力的な映像が続きます。最後はダンス部の「淑徳グラミー賞」と題されたパフォーマンスに生徒は魅了されました。書道部・美術部・イラスト同好会の作品はギャラリーに展示され、華やかな空間を作り上げていました。



中学ミニ体育祭

2学期末、中学生は学年毎にミニ体育祭を実施しました。種目は、玉入れ、綱引き、台風の目、大縄跳び、全員リレーの5種目。体育の時間に練習をして臨み、どの種目もマスク着用で参加しました。今年度はコロナ禍で体育祭が中止になったため、生徒たちはとても楽しみにしていました。全員リレーでは特に盛り上がり、一生懸命走る生徒に、惜しめない応援が送られました。2年生の全員リレーでは、最後にゴールした2クラスのチームはしつかり走って同時に到着。勝ったチームも、負けたチームも初冬の凛とした空気と陽射しを満喫し、気持ちよいひとときをすごしました。



2021年度 学校見学会

コロナ禍によりオープンスクールをやむなく中止した今年、受験生や保護者から直接学校を訪問して受験に備えたいという要望が寄せられました。そこで11月14日・21日・28日に学校見学会を実施。予約制で人数制限を設け、14日は303人、21日は293人、28日は290人が参加しました。6年生と5年生の参加はほぼ半数でした。教員による校内の案内では、参加者は約20人のグループに分かれて各所をゆつくりと見学し、丁寧な解説にとても満足していました。センテナリーホールでは校長挨拶や入試説明(録画)、生徒の受験体験談、来年度入試の出願に関する説明を行いました。



淑美展

淑美展は、愛知淑徳中学・高校の美術部、書道部、写真部の合同展覧会。生徒が日頃の活動成果を発表する大切な機会です。第1回展は昭和34年、美術教室にてクラブ作品と授業作品を一緒に展示したことが始まりとされています。その後、より多くの方に見ていただく目的で会場を校外に移し、一時中断があつたものの、学園創立百周年を機に復活。最近では毎年、名古屋市民ギャラリー矢田にて開催しています。今年度はコロナ禍でクラブ活動にも制限が及びましたが、11月17日から22日まで53点の作品を展示することができました。淑美展が愛知淑徳の芸術文化活動の一環として今後も発展していくことを願います。

